

令和2年度庄内町振興審議会 第2回文教厚生分科会 会議録

- 1 開催日時 令和2年9月23日（水）14時00分～17時30分
- 2 開催場所 庄内町役場 B棟3階 大会議室
- 3 出席委員 梅木 均・佐藤道子・田澤富雄・佐藤あゆ子
- 4 欠席委員 海藤喜久男
- 5 事務局 阿部課長補佐兼企画調整係長 太田主事

●ヒアリング時間割
14:00 ～ 社会教育課
15:00 ～ 保健福祉課
15:50 ～ 教育課

●第2次庄内町総合計画基本計画 後期基本計画（案）について「振興審議会」の質問・確認事項

頁	施策分野	質問・確認事項事項	担当課	ヒアリング応答	分科会意見
17～	第1章全般	<p>○全般 それぞれの分野で主要事業が追加され、より具体性が見えてきたと思う。しかし、いずれの分野にも「包括」支援事業という施策が見受けられるが、それぞれどのような組織、運営、目標（活動内容からの実績）を目指しているのかお聞きしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センター事業 ・地域包括支援センター運営事業 	保健福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料参照 ・「包括」とは対象者やニーズが違っても1箇所で総合的に相談を受けることができる仕組みをイメージしている ・どのような相談でも断らず受け付ける。その後、関係部署に引き継ぐ役割を担う ・福祉総合相談センター（社会福祉協議会内）をB棟3階に設置。地域包括支援センター、生活困窮、引きこもりの相談機能が集約されている ・子育て世代包括支援センターは子育て期の相談に助産師、または保健師が応じる ・地域包括支援センターは高齢者の介護の他、健康、権利、などさまざまな相談事に対応 ・総合計画では大枠の設定として作成。その他、細かい部分は他の計画で詳細に説明等行ってる <p>【梅木会長】ほかの部署との連携についてはどう考えてるか A 保健福祉・税町・子育ては新庁舎1階に集まり、連携しやすくなった。教育課は別フロアなので1階フロアに比べれば少し協力しにくくはなる。除雪等、担当が他課にまたがる事業もあるため、情報共有を行い連携を強める必要があると考えている。</p> <p>【梅木会長】自殺、引きこもり対策等、具体的に数多くの新事業が立ち上げられていたがどういった狙いがあるのか A 自殺については国が法律を制定し、それに基づいて事業を実施したため掲載。引きこもりは国庫金を使っての事業が進められるようになり、今までやってきたことを継続および強化する視点から新規に掲載した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・説明を受けなければ「包括」の意味が分かりづらい。計画書への記載の段階でもっと町民にわかりやすく記載するべきではないか。 ・多くの事業に取り組んでいるのに、それが町民に伝わらないのではもったいない。 ・誰が責任をもって事業を進めていくのか。
20	1-2 高齢者支援	<p>○1-2-3介護保険サービスの提供 居宅サービスの充実について、ホームヘルパーの確保の見通しはいかがか</p> <p>介護予防、健康づくりは大変重要だが、その拠点整備の考え方は現状維持とある。今後も高齢化が進んでいく中で、サービス供給体制の充実とあるが、どのような対応を考えているのかその内容についてお聞きしたい。</p>	保健福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・国からは処遇改善の交付金が交付されたり、事業所では研修の充実を行ったりと人材確保に尽力しているが大変厳しい状況 	
			保健福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・町から事業所へ情報提供を行い連携していく <p>【田澤委員】サービスがあっても、実際に受けられるのかが問題である。ヘルパーが不足することによってサービス低下が危惧されるのではないか。 A どれだけの介護人材が確保できるのかは今後大きな問題。施設があっても職員不足で入れないということも考えられる。これは庄内町に限らず全国的な問題である。地域の通いの場を構築し、地域で全体で支え合う制度を作り上げていかなければならない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民で手を取り合っという言葉が各課から出ているが、それだけではカバーしきれない部分も出てきているのではないか。

頁	施策分野	質問・確認事項	担当課	ヒアリング応答	分科会意見
21	1-2 高齢者支援	○ベンチマーク②について 施設介護サービス利用件数とはどのようなものか教えてください。	保健福祉課	・介護老人福祉施設や介護老人保健施設を利用して支援を受けた人数	
22		○ベンチマーク④について 介護認定率の算出方法を教えてください。	保健福祉課	・要介護認定者数/65歳以上被保険者数*100=介護認定率	
27	1-4 地域福祉	○1-4-1包括的な支援体制の整備 ③わかりづらい。包括的相談支援体制と包括的支援体制とあるが、もう少し簡潔にわかりやすくならないでしょうか？	保健福祉課	省略	
31	1-5 保健・医療	○現状と課題 現状と課題の中で最後に「また、医療機関については・・・」とあるが、診療所医師の高齢化の課題について施策がないのはなぜでしょうか。 また、昨年度の答申の中に小児科誘致についてもあったはずだが、それについてはどのように考えていますか。	保健福祉課	・医師の確保や医療機関の誘致は町単独で行うには限界がある。県または庄内地域で広域的に要望を続けていく必要がある ・県において「山形県保健医療計画」「山形県医師確保計画」を策定予定。県および庄内地域は医師が不足している現状を課題としてとらえている ・小児科については出生数の減少に伴い医療需要が減少していくと見込まれている。逆に高齢者医療の需要が増加していくと見込まれる。 ・県レベルで医師確保は計画されているため、意見や要望を伝えていく ・庄内余目病院には小児科・産婦人科の診療科の増設を希望していく 【道子委員】機会があるごとに町からの要望として声をあげてほしい A 現在も要望しており、今後も継続していく 【あゆ子委員】町だけでは誘致が難しいが、要望はしているという現状を町民の皆さんにも伝えるべき A 1-5-5に「引き続き要望していきます」と付け加える	
35	1-6 社会保障	○1-6-4貧困・格差対策の強化（重層的セーフティネットの構築） ② 把握に向けた連携とか支援に向けた連携とか何となく理解はできにくいですが、もう少しわかりやすくしたほうがいいのではないのでしょうか。具体策が見えてこないような気がします。	保健福祉課	・重層的とは、課題が1つではないため、関係する様々な分野が総合的に支援していくという意味。 【田澤委員】「地域」という言葉が多く、地域で何かをしなければならないのかという感覚になる。支援が必要になった場合に、地域では何ができているのか。 A 支援の中にも行政がすること、制度がすることなど様々なことがある。それらから外れた部分を地域の助け合いでできればいいと考える。また、町民自身が行政に頼りきりにならないよう促すことが必要である。	説明を聞いて理解はできたが、町民の方が見ただけでわかるようにした方がよいのではないか
38	2-1 幼稚園・学校教育	○全般 自分はどこに立脚しているのか、自分はどこに根を張っているのか、この意識の薄弱さが、昨今常識を逸した事件や社会問題を引き起こしている原因となっているように思う。地域との関わりが薄くなっており、地域と自然が密着した様々な体験機会も減少している。がふるさと教育という視点の施策があるが、現在どのような取り組みをしているのか。	教育課	・町独自の取り組みと、全国的に実施している取り組みがある ・町独自①小学校の副読本を町で作成し、小学校3年に配布。小学校では3年～4年にかけて指導、中学でも使用している。その中で必ず指導することとして定めている分野がある。例：町の4偉人について、風力発電、南三陸との交流 ・町独自②各学校独自の地域学習。それぞれの学区に根差した学習。例：槇島ほうき、町歩きによる立川の歴史学習 ・全国的な取り組みとしては地域講師からの指導。米作りや野菜作りなどで地域の方に連携していただいている ・来年度以降はコミュニティスクールも実施する。地域の方に積極的に子供たちにかかわっていただく機会を作る 【梅木会長】読本は町民は見れるのか A 図書館で見ることができる。教育課でも見れるように配置する 【道子委員】販売してはどうか A 希望はあるので検討する。貸出はできる 【梅木会長】カートソレイユで授業をしてはどうか A 検討する	

頁	施策分野	質問・確認事項事項	担当課	ヒアリング応答	分科会意見
40	2-1 幼稚園・学校教育	<p>○ベンチマークについて 町立幼稚園は入っているが、保育園（民営含む）のデータは入らないのか。（縦割りの部分は理解しますが） また今後の立川地域の数値はどうなっていくのか。</p>	教育課	<p>・制度そのものが国の計画や町の教育振興計画に沿って策定しており、子育てとは別の部門となっている ・保育園とは常に連携を取りながら活動をしているが、保育と教育では目指すところが異なるため、ベンチマークとしては別部門となる</p> <p>【あゆ子委員】立川地域について、町立の幼稚園がなくなるわけだが、そちらについてはこのベンチマークに対応できるのか A 立川地域認定こども園の4,5歳児の教育については、町の教育が基本になることを移管先法人と約束をして教育を実施していく</p> <p>【あゆ子委員】園長が集まる会議には認定こども園の法人からも出席していただくのか A 契約書に盛り込んでいるところである。今までも保育園を含む会議等行ってきたので、今後も実施していく</p>	
45	2-2 社会教育	<p>○2-2-2町民が共に学び続け、生きがいをもてる環境づくりの推進 ②について コミセンに移行した場合の管理者についてはどのように考えていますか。公民館とコミセンの違いについて調べてみて大まかには理解したつもりですが、それは法的な違いであり、具体的に庄内町では管理者についてお聞きしたいです。どのような人がどのような立場でとか・</p>	社会教育課	<p>・今年度、移行検討委員会を立ち上げ、移行にあたっての課題やスケジュールの意見をいただき、町としての方針案を検討委員会で検討中。10月で報告書が出る ・町の考えとしては令和4年度の移行を目指したい ・指定管理者制度は現在第四公民館のみ導入。コミセン化を機会に全館に導入したい ・運営組織は「地域づくり会議」を母体とした組織を改変した組織と考えている。NPO等は考えていない ・組織の中央にいる事務局長を育てていく</p> <p>【梅木会長】指定管理化してからコミセン化という順序はふまえないのか？ A 和合の里からコミセン化への要望がある。令和3年度で和合の里の指定管理期間が終わるため、その切り替えのタイミングでコミセン化を進めたい。</p> <p>【道子委員】現在の公民館職員が継続して就任するのか。今後1年で人材育成が可能なのか A 運営に長けた人が就任するとは限らない。町で研修を行ったり、支援員の配置したりとバックアップが必要である。誰でも初めからできるわけではないので、町と地域で育てていくしかない 【道子委員】現在の公民館からコミセン化した場合の変更点をもっと町民に周知が必要では A 広く周知はまだしておらず、説明が足りているとも思っていない。町の方針が固まり次第周知を行っていく。</p>	全体会に提案
		<p>・コミセン化によって、生涯学習活動への取り組みが高まるのか。</p>	社会教育課	<p>・コミセン化によって、今までできなかった民間の講座や有料で実施される講座が開催可能になる ・現行の公民館事業は継続して実施 ・中央公民館はないが、社会教育係がその役割を担いコミセンとの連携を図る ・例として指定管理になった第四公民館では、従前は実施していなかった新しい事業への取り組みを進めている</p> <p>【梅木会長】今まで実施していた事業を縮小することもあるのか A 縮小というよりは見直しを進めていく</p> <p>【梅木会長】有料のイベントに偏っていく可能性はないのか A 今まで実施していた事業がすべて有料になることはないように考慮している</p>	

頁	施策分野	質問・確認事項事項	担当課	ヒアリング応答	分科会意見
48	2-3 青少年健全育成	<p>○2-3-2庄内町の自然・歴史・文化を生かした体験の充実と共有化</p> <p>町独自で行事などの事業に取り組むのか、それとも利用者に自主的に施設を使ってもらえるように整備・宣伝するものなのか（ベンチマーク②が施設の利用件数だったため）</p>	社会教育課	<p>・社会教育課で行う事業（森森自然塾）や、各公民館で実施する事業で森森を利用する</p> <p>・町内外の子供会やスポーツ少年団にも利用いただけるように周知</p> <p>・H28までは悪天候の際は町内外に関わらず管内宿泊を認めていた。現在は旅館業法に基づき、町内の方のみ宿泊できる。町外の方はテント泊のみ可。これにより利用者数が激減したため、ベンチマークを利用件数とした</p> <p>【梅木会長】県の宿泊可能施設はすべて旅館業法をクリアしているのか A その通り</p> <p>【あゆ子委員】町内の教育施設としては設備はこれで十分という考えか A その通り。教育施設という位置づけなので、現在は一般家庭の利用は受付していない</p> <p>【道子委員】人数で把握していたころの利用件数も把握しているはず。利用できる総団体数から、うちいくつの団体が使っているのかを確認し、利用していない団体へ推奨してはどうか</p>	
50	2-4 スポーツ	<p>○全般</p> <p>社教とスポーツ協会と総合型地域スポーツクラブとのかかわり方と、社教と芸文協と響ホール事業推進協議会とのかかわり方について違いや、今後の在り方について考えがあればお聞きしたいです。</p>	社会教育課	<p>・H28～指定管理委託</p> <p>・「コメっちわくわくクラブ」八幡スポーツ公園で旧余目地区の施設を管理している</p> <p>・社会教育課主管のソフト事業についても、指定管理と同時にコメっちの指定管理業務として委託</p> <p>・具体的には庄内町スポーツ協会およびスポーツ少年団の事務局。ひまわりマラソン等</p> <p>【道子委員】スポーツ関係の事業についてはコメっちに完全に活動を移譲しているのか A 町で実施していることとしては、スポーツ推進委員、体育指導委員の運営。その他、コメっちが主導する事業についても企画段階から参画し、協力して実施している</p>	
53	2-5 文化芸術・文化財	<p>○全般</p> <p>社教とスポーツ協会と総合型地域スポーツクラブとのかかわり方と、社教と芸文協と響ホール事業推進協議会とのかかわり方について違いや、今後の在り方について考えがあればお聞きしたいです。</p>	社会教育課	<p>・H28～指定管理委託</p> <p>・「響ホール事業推進協議会」</p> <p>・町主管のソフト事業は指定管理業務とならなかった</p> <p>・今年9月に文化スポーツ係の人員減があったことから、来年度以降は芸術文化事業も指定管理業務としてお願いしたいと考えている</p> <p>【道子委員】響ホール事業推進協議会にもっとソフト事業を委託してもいい時期なのではないか（芸術祭等） A 先日協議会の理事会に参加。ある程度町と協力していただくようお話ししたところ。引き続き意見交換しながら調整を進めていきたい</p>	<p>・スポーツと同じように文化面も連携し、事業を進めていくべき</p>
53	2-5 文化芸術・文化財	<p>○全般</p> <p>民族芸能等の伝承活動において、現在は地域や地区の狭い範囲での伝承保存を行っていると思うが、もう少し広域での伝承は考えられないのか？</p> <p>獅子踊りや奴っこ振り等各地域の祭りで奉納するためのものであると認識しているが、その際の宗教と文化との考え方によってかかわり方が違ってくると思う。あくまでも地域の文化と考えた場合には、集落の伝統芸能ではあるものの、地域の枠にとらわれず伝承者を集める範囲を拡大することができるのではないかと思います。いかがなものでしょうか。</p>	社会教育課	<p>・集落でも少子化や高齢化に伴って、民俗芸能の担い手が不足している。そのため、一緒に暮らしていないお孫さん呼び寄せ実施している集落もある。</p> <p>・集落の実施方針によって取り組み方は様々である。町としては補助金や交付金のを交付して、どのような取り組みでも支援は行っていく。</p> <p>【あゆ子委員】町からの指導や提案も可能ではないか。前期の計画では映像に残すという記載しかなく「失われること」前提で、後ろ向きな感じがする。新興住宅地に住む民俗芸能に触れる機会がない子供たちにも、学習の機会として参加させることはできないのか A 難しい部分が相当にある。過去には地域の神社や氏子という団体が部外者を受け入れたがらないという経過があった。しかし、委員の指摘のとおり、町からの支援については計画に盛り込むべきか課内で検討したい</p> <p>【あゆ子委員】祭りのなんたるかを考え直す機会なのではないか 【道子委員】小学校のふるさと授業で各集落のお祭りや行事の学習をする方法もあるのではないか</p>	<p>・前期計画よりも前向きな記載内容となっているが、P54/2-5-5「正確な記録を進め、所作等の伝承に努める」という文言は町の価値観の押し付けなのではないか</p> <p>・伝統的なものを正確に残したいのであれば、行事を知っている人から指導していただけるような仕組みの構築が必要</p> <p>・町からの提案やアドバイス、PRが必要ではないか</p>

頁	施策分野	質問・確認事項事項	担当課	ヒアリング応答	分科会意見
50 ～ 74	3-5 公園・緑化	<p>○2-4-4スポーツ施設の整備充実 八幡スポーツ公園の整備計画に関連して、周辺駐車場を拡充する取り組みの有無について（各種大会が重なると駐車場が不足する問題が発生している）</p>	社会教育課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体育館正面向かって左側の花壇を撤去し、駐車場を広げる予定で予算要求を行ったが見送られた ・ 担当としても大きな大会の開催時に駐車場が不足している現状は把握しており、駐車場整備のための予算要求を続けていく 	産業建設分科会質問
84	3-8 雪対策	<p>○3-8-2高齢者世帯等の除雪の支援 高齢者等除雪支援事業について、具体的な支援対策の内容説明を求める。</p>	保健福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 65歳以上の高齢者のみの世帯、障害をお持ちの方を含む世帯に対して玄関先から1メートルの幅で道路までの除雪を行う ・ 事業はシルバー人材センターに委託。利用登録した方がシルバーの担当の方に連絡していただく ・ 最近では各自治会へ町から依頼し、契約のもと除雪作業をしていただいている ・ 年100人近くが利用登録している 【道子委員】有料ということは自己負担があるのか A 30分/600円の単価。うち自己負担が30分/100円 【道子委員】周知はどのようにしているのか A 民生委員の協力を得て対象者に周知。ケアマネージャーからも情報提供をいただいている。毎年登録している先には担当課からも確認。 	産業建設分科会質問